

第22回 DAAS運営委員会

□ 日 時：2013年1月24日（木） 14:00～15:30(予定)

□ 場 所：ソーシャルインキュベーションオフィスSUMIDA セミナー室

〒100-0014 東京都墨田区本所 3-15-5 1 階

Tel: 050-3786-0568

□ 議 案：

[報告事項]

国土交通省営繕部の資料収蔵について <資料 1>

東京藝術大学アーカイブセンターについて <資料 2>

[検討事項]

第7期事業計画見直し

運営基盤の安定化について <資料 3>

アーカイブサービスについて <資料 4>

□ 資 料

資料1 -国土交通省営繕部でのDAASのデモ、打合せ等のまとめ

資料2 -東京藝術大学総合芸術アーカイブセンターについて

-ヒアリングと連携の可能性について-打合せ

資料3 -運営基盤の安定化へ向けた検討と体制確立について

資料3 -参考 DAAS のこれまでと、現状認識

資料4 -アーカイブサービスについての検討

別添1-第7期（2012-2013年）事業計画

別添2-平成17年DAASプロジェクト趣旨説明

別添3-DAASのこれまでの活動と今後

国土交通省営繕部でのDAASのデモ、打合せ等のまとめ

■日 時：2012/12/03(月)14:00～15:00

■場 所：国土交通省

■出 席：[国土交通省大臣官房官庁営繕部]係長；松波正実氏 設計審査係主任；久光英春氏 [国土交通省住宅局 建築指導課]武井様、佐藤様 [DAAS 事務局] 武藤(メモ)

■概 要：

「迎賓館の天井補修のデータ（報告書）」を DAAS で収蔵する件について

1)DAAS 武藤より、以下概要説明

◇ DAAS の Web 機能、資料収蔵枚数等プレゼン資料にて説明。その他資料の二次利用・セキュリティについては口頭説明。

2)営繕部 松波氏より資料についての説明

◇資料内容、掲載内容について

- ・迎賓館天井補修報告書であり、既にデータ化され高解像度資料もある。80p 程度の予定。
- ・内閣府の Web サイト、迎賓館に関するページでも一部報告書を掲載する予定である。
- ・DAAS-Web の資料掲載・資料収蔵については、鈴木理事長より声がけを頂いた。一部公開、その他は非公開資料という形となると考えている。

◇内閣府管轄である迎賓館の補修を国土交通省大臣官房官庁営繕部で行ったという PR にもなるため DAAS-Web サイトへの掲載は営繕部では前向きに検討している。

◇データの貸し出し規程等は今後詳細を検討したい。(利用のニーズは高いと考えている)

3)その他意見等

- ◇ 武井企画専門官より営繕部に対し「今後営繕部管轄の工事等の資料収蔵を DAAS で行うよう広めて頂きたい」という依頼を行った。
- ◇ DAAS の会費運営分での収蔵という形ではなく、収蔵にかかる費用を設定し、提示するというビジネスという形で、委託等々の費用を頂いてもよいのでは？

4)資料収蔵について

◇ 今後も営繕部からの継続的な資料提供を見込めるため、今回の資料収蔵については引き受ける方向とする。また官庁、及び一般へのアーカイブサービスとして委託費用を提示する機会であると考え、概要をまとめ Web サイトの掲載を検討する。詳細は運営委員会にて報告し、承認を得たい。

打合せ後の回答・検討事項等

- ◇ 資料掲載については営繕部より承認を頂いた。(2012/12/17 付)
- ◇ DAAS の今回の委託費について。(2012/12/17 付 DAAS より回答：電話にて)
 - 外部に向けたアーカイブサービスと費用の提示については委員会での承認を諮りたいため保留としたい。
 - 今回の迎賓館資料掲載・保全是継続的な収蔵のテストパターンとする。
 - 営繕部からはデジタルデータを受領(＝デジタル化費用が不要)し、現行の Web サイト機能を利用(＝大幅な改修不要)となるため、掲載にかかる費用は、画像アップの為の人件費、サーバ管理費のみとなるが、これまでの資料収蔵に照らして費用検討した場合大きな金額にはならないので今回費用はなしとする。ただし、アーカイブサービスの概要と費用をまとめ、今後の為に営繕部にも提案するという形とする。

➤ 掲載方法

- ・ 写真等の一覧表示、画像表示、もしくは、特集サイトでの報告書の掲載。現行の機能のみを利用。意見等あれば今後の **Web** サイトの機能追加を検討する。
(有償となる為費用を提示する)
- ・ サイト上の見せ方の工夫、改修・調整が必要な場合などの委託費も提示する。

◇ 保守の工期が 1 月から 3 月と延期されたため、資料収蔵についても 3 月末となる予定である。(2013/12/21 付電話にて松波氏より)

※本件は資料 4「アーカイブサービスについて」にも関連する報告である。今後の収入事業・新規事業展開としてアーカイブサービスの実現、概要等を委員会にて検討・承認頂きたいと考えている。

東京藝術大学総合芸術アーカイブセンターについて

-ヒアリングと連携の可能性について-打合せ

■日 時：2012 年 12 月 21 日 13:00~14:00

■場 所：東京藝術大学

■出 席：[東京藝術大学] 副学長：北郷悟氏、クロッシングプロジェクト室：君塚和香氏、[DAAS 事務局] 中田氏、武藤(メモ)

■概 要：

1) DAAS の活動についての説明 (事務局 武藤よりプレゼン資料及び口頭にて)

◇ DAAS のこれまで：

- DAAS の事務局規模 (常勤 1 名) / 収蔵数 (メタデータ 3000 件超・資料数：写真、動画、エッセイ 11,000 点超) 現在は任意団体として活動。
- 当初新建築社の退色補正データ 6000 点から始まった。
- 現在任意団体であるが UIA 東京大会に向けて資料収蔵費用として補助金を頂き臨時職員等雇用。収蔵数を増やしてきた。
- 収入としては会費以外に、資料に対して展覧会の写真利用のひきあいなどがある。

◇ DAAS の現状、問題点等：

- 資料収蔵がある程度に達した今、新期事業の展開、連携を考えている時期である。
- 組織としては規約上、理事会、総会、運営委員会は設置されているが実務として動くメンバーがいない。企画部会も現在機能していない。
- 大手企業が会員として参加しているが、各企業の資料収蔵にもとりかかかれていない。(会員メリットが打ち出せていない)
- VR(virtual reality)データ等はない。また、資料の見せ方、活用方法の検討が必要と考えている。

2) 藝大の状況(北郷氏より口頭説明)

◇ 東京藝術大学アーカイブセンターの経緯と現状：

- 重要文化財のデータ化の研究をしたことが発端となり、アーカイブセンターを立ち上げた
- アーカイブセンターの概算要求を行い 2 年が経過。NPO 法人を立ち上げ運営をしている。
- 『藝大』=『芸術学の「理論」の方ではわからない「実技の経験(アナログの経験)」をもっている』 その藝大でデータを持つことにより色んな検証をすることができる
- 情報発信・システム研究、絵画や立体、映像、音楽等のアーカイブである
- 藝大に於いて閲覧・収蔵→活用という「循環型」のアーカイブを実現している。
- 見て、真似て模刻したものがレプリカであるのに対し、本物のデータからつくられた復元品に触れることができるということの重要性。彫刻の持つ空間の意味合い、形の検証。また、そういったものを日常空間に置くことで教育、子ども達の感性を育成できると考えている。美術館を出たところでの活動も可能となる。
- 実際に訪れることができない国での調査も可能となった。
- 美術館ではすでに復元品がおかれ、実物は非公開の状態になっているものもある。

◇ 東京藝術大学アーカイブセンターでの課題等：

- 技術・研究等はできるが外交の時間がない。海外(エジプト・ヨルダン)等の文化財のアーカイブの業務を芸大で行い、研究・展開していきたいという希望がある。
- 文化庁でもアーカイブはうまくいっていない部分もあり、藝大が具体的事例をだして、よい運用方法を示していかなければいけないと考えている。
- まだ建築はない。建築のアーカイブが加わればと思っている。
- 藝大の建築学科の吉村先生のデータがお蔵入りにになっている。吉田五十八の図面もどこにあるか見えてこない。
- アーカイブ自体はまだ始めたばかり。現在は研究機関だがその後は運用に走る必要があり、予算をどうするか、ということも検討しなければならない。
- 藝大の大学美術館の収蔵庫に模型などがあり保管されているだけである。一般公開をし、藝大の歴史をみせる、科の特色を見せるなどの企画をたてていかないと社会にでていかないと考えている。
- 新しい図書館は収蔵庫でなく一般にみせられる資料館にしたいと話をしている。
- 文化庁や文科省に対して、藝大が具体的提案を示せば費用を出すというところはあるように思える。ただし藝大の教授は制作に忙しく、提案などができていない。改善が必要。むしろ国を動かしていけるようにすべきであると考えている。
- 空間アーカイブとなれば VR も考えられる。展示会場に何があるかが見られる。吉村氏の壊された住宅のデータもある。VR のノウハウの蓄積をする必要がある。

◇ その他藝大の活動について

- 現在 藝大と東大とで相互の大学での定期的な懇談会を実施。不忍池と上野公園を中心とした「芸術特区」という計画。規制を解いて使いやすい空間とし、アジアの拠点にする

◇ 打合せ後の追加説明

- 総合芸術アーカイブセンターの Web サイトは学内限定アクセスとしているため現在は一般にアクセスすることはできない。

打合せ後のまとめ (DAAS として)

現在、建築アーカイブの協力を仰ぎたいという藝大側の希望もあり、DAAS としては大学との連携を実現する良い機会ではないかと考えている。これをきっかけにアライアンスや大学との連携も広がるため、具体的な活動内容を検討したいと考えている。問題点としては、DAAS の人的リソースでは、企画、連携の提案をすすめるには限界がある。しかしながら、本件の対応について委員会でも意見を頂き、連携を実現する方向で話し合いをすすめていきたいと考えている。問題点を解決するアイデアの例として大学生のインターンによる人的リソースの確保、大学での単位取得と連動したアーカイブ活動への参加など、大学側の現状やアーカイブの職能の実現等々にも絡めた検討が必要とも考える。

以上

運営基盤の安定化へ向けた検討と体制確立について

現在、DAAS が直面する課題は「活動基盤が不安定であること」であり、早期に解決しなければならない短期的課題です。活動基盤とは経理、経営的基盤そのものであり、活動基盤を安定させなければ、今後の諸活動も停滞しかねません。

DAAS(WEB サイトとデータベース)の活動は、現状を維持・管理するだけであってはならない、このことは理事長、会員の皆さまの認識のとおりで、とりわけ運営現場にいる事務局として強くこのことを認識しています。活動基盤を安定させるといっても簡単なことではありません。検討が必要なのは多く、安定化手法も様々と思われます。また、この検討テーマは重く、運営現場の事務局のみの検討では容易に結論が得られない問題です。

また、DAAS のこれからのあり方、活動方針により、活動基盤を安定化させる手法も変化する可能性もあります。DAAS を今後も任意団体のままとするか、目的をもって法人化するか、ということその一つとも考えられます。

本資料は、DAAS のこれからのあり方、活動方針など中長期的課題の検討と、短期的課題である DAAS の活動基盤安定化へ向けた検討の必要性をご理解いただくとともに、それらを具体にするために必要な検討体制の確立を目的として作成したものです。

これからの DAAS のために、この運営委員会で積極的な意見交換をいただき、検討体制の確立をお願いいたします。

1. DAAS の現状について

1) DAAS 会員数と収入経緯と現状 (事業報告・決算報告より)

期	予算額推移(単位:千円)			会員数推移:()内は理事		
	会費	補助金	備考	団体	企業	個人+学術
第1期(2006～2007)	12,300		設立準備金	-	-	-
第2期(2007～2008)	15,400		繰越300万含	6(6)	22(10)	7(7)
第3期(2008～2009)	10,000	10,000		6(6)	24(7)	7(7)
第4期(2009～2010)	13,700	10,000		6(6)	22(5)	7(7)
第5期(2010～2011)	12,500	8,500		9(6)	22(4)	8(8)
第6期(2011～2012)	8,700	500		10(7)	22(4)	8(8)
第7期(2012～2013)	8,600			10(7)	21(4)	8(7)

※2012年までの退会企業会員4社、退会希望・会費滞納併せて現在9社

2) 事務局体制の変遷【事務局場所(支援体制)】

期間	事務局場所(支援内容)	事務局(委員数)	職員
第1/2期(2006/12～2008/9)	(株)新建築社(総務支援・職員雇用)	9名	常勤1
第3期(2008/10～2009/6)	NPO住宅・建築・都市政策支援集団 (ベターリビングにて職員雇用)	6名	常勤1
第4/5期(2009/6～2010/6)	(財)ベターリビング(総務支援・職員雇用)	6名	常勤1
※補助金事業時	契約・派遣社員はベターリビング雇用 アルバイトについてはDAASにて人選・雇用		アルバイト3 派遣社員1 契約社員1

第5期(2010/6～2011/9)	シェアオフィス(職員雇用:ベターリビング)	5名	常勤1
※補助金事業時	臨時雇用者はDAASで直接雇用		アルバイト2 派遣社員1
第6期(2011/10～2012/9)	都中小企業振興公社運営オフィス (職員雇用のみはベターリビングへ)	4名	常勤1 派遣社員1
第7期(2012/10～)	都中小企業振興公社運営オフィス (都による運営支援等 雇用はDAAS直接)	2名	常勤1

-DAASの諸活動のほか、経理・経営的事務全てを事務局長1名のみで行っている

3) DAASの現状を踏まえた最優先課題は、—経営基盤の安定化—

- ・事業展開、各種契約、知財管理をするにも、任意法人のままでは限界がある
- ・法人化を目指すにも、経営基盤の安定化が最優先課題
- ・他の任意団体等の現状を鑑みると、身寄り可能な法人、団体等が必要である。第7期内でその法人を決定し費用的にも、人的にも支援を仰ぐ必要がある。
- ・DAAS というデジタルアーカイブスを構築し、運営面で支援している国交省住宅局が、DAASの存在と今後を、どのようなビジョンを持っているか意向の確認することが必要。

2. 検討体制について

以下3案を提示します。前提として、いずれも国交省担当官の出席を必須と考えます

1) 運営委員会で集中検討する

- ・開催頻度を高める(例えば月1回以上の開催)

2) 運営委員会メンバーでWGを構成し、集中検討する

- ・4～5名+国交省担当官により構成をイメージ
- ・開催頻度は月1回以上を想定

3) 運営委員会の下に部会設置し、集中検討する

- ・運営委員会から部会長を選出し、部会長の意見を参考に、運営委員又は運営委員が属する団体・企業から実務者を選出いただく
- ・この場合も4～5名+国交省担当官により構成をイメージ
- ・開催頻度は月1回以上を想定

3. 今のDAASに必要なこと(1年以内＝短期計画)

1) 人＝人的リソース

- 現在の事務業務人員一名以外に、資料保全やアライアンス等のための人員が必要。新規事業を行う場合はさらに事務作業を行う者も必要となる。(団体の支援先、大学との連携での人員等、リソースを確保する様々な可能性を検討する必要がある。)

2) 物＝コンテンツ、資料、データベース

- DAASの永続的活動である資料保全、資料を活かしたコンテンツ制作、また操作性をあげるためのデータベースの改修、改善とその為の費用の検討も必要。

3) 費用＝会費、その他収入事業

- 事務局人件費

- DAAS アーカイブスプラットフォーム(サーバほか)の維持費
- 諸活動費
- 会員メリットが見えない、活動が進まない等の理由による会員の減少を食い止めるための提案と、収入事業の検討。DAAS のサイトの維持・管理費用の確保。

※ この短期計画については今期内(2013 年 9 月末日まで)に行うこと、目的・目標を明確にし、実現にむけた具体的活動を早急に開始したいと考えている。

※ 短期計画スケジュール案として(第 7 期)

- 2013 年 1 月：検討体制の決定(運営委員会にて)
- 2013 年 2 月：検討会実施；目的・目標の明確化
- 2013 年 3 月：検討会実施：具体的な活動詳細の決定(アライアンス先、支援呼びかけ先、とその内容の具体化)とアプローチの開始
- 2013 年 4～5 月：検討会実施：アプローチ結果の整理と具体案の再検討
- 2013 年 6 月：運営委員会での報告
- 2013 年 6～7 月：検討会の実施
- 2013 年 9 月：事業活動のまとめと来期事業計画の検討

4. これからの DAAS に必要なこと(中期計画)

1) 人=人的リソース、ネットワーク

- 安定した人員の確保と、強固なネットワーク(団体・大学)の構築。

2) 物=コンテンツ、資料、データベース

- 資料収蔵の実績と、安定した資料収蔵のための提供元の確保

3) 費用=会費、その他収入事業

- 事務局人件費
- DAAS アーカイブスプラットフォーム(サーバほか)の維持費
- 諸活動費
- 文化的活動としての周知。それによる会員参加(企業の CSR に貢献できる活動として)

5. 事務局より「基盤安定のための案として」(もの=事務局・資料・その他データ、費用=運営費・保全費、人=人的リソースを必要要素として)

1) 国土交通省への依頼(案)[体制整備のための費用・人的リソースの支援]

- [もの]住宅局からの資料保全時の DAAS 活用について周知して頂く。すでに営繕部への依頼を行っているが、他部署へも協力を依頼
- [人(ネットワーク)・もの]過去を残す取組として各省庁や機関との連携の窓口、橋渡しを依頼
(例) 国立国会図書館(東日本大震災アーカイブ)、文化庁(建築資料館、文化財、寺社仏閣等々)、経産省(近代化産業遺産)等への関わりについて国土交通省単独ではなく「国としての取組」としてアーカイブの連携を呼びかけて頂け区。※経産省等でのアーカイブに関連すれば会員の増加も見込めるのではないかと。各活動の列挙と整理が必要。
- [費用]補助金の交付についての依頼
設立当時の景観形成事業推進費を使ってシステム構築をしたが、景観でいえば、景観法を所管する市街地建築課(景観企画官)また、局内予算を考慮すれば住宅生産課等からの交付は可能かを考える。

- [人(ネットワーク)・費用]支援組織に事務局の雇用、総務的处理等の支援を得る
住宅局傘下だった法人(社団、財団系)の支援を得る。住宅局が中心となり支援を呼びかけて頂く。あわせて住宅局内で DAAS 担当課の明確化を再度依頼する。
- [もの・人(ネットワーク)・費用]アーカイブを所有する団体との連携
技術系アーカイブ等と連携し発展的運営をまかせる(組織的支援になる可能性も)
- [もの・人(ネットワーク)・費用]国交省住宅局にとっての DAAS とは、の整理
DAAS 発起人 和泉氏、井上住宅局長の役員就任等による直接的関与等

・DAAS が危機的状況であることを住宅局内に認識頂き、DAAS の今後をどのように描いているか意見を伺い、その上で明確な案を提示する必要があると考えている。

2) 大学、図書館等の支援を得る(人=人的リソース、もの=連携による資料保全)

- これまでに活動協力等を呼びかけた大学との連携の強化。
例) オープンアライアンス: 金沢工大、京都工芸繊維大学、アーカイブセンター: 東京芸大、工学院大、ビデオ制作・執筆依頼: 東京大学(各大学へのアプローチを行い、検討する必要がある)

■DAAS のこれまでと、現状認識

1)平成 17 年度 DAAS プロジェクト成果

- ・国家予算で DAAS (WEB サイトとデータベース) を作成
 - プラットホーム設計とコンテンツ収蔵を同時進行 (コンテンツ提供: 新建築社の全面協力)
- ・約 6000 点の建築写真、褪色補正とデジタル化
- ・著作権の考え方整理。モデル契約書の作成

2)DAAS は誰のものか

- ・DAAS (WEB サイトとデータベース)
 - = 所有権は国 (国土交通省)
 - = 知的財産権は BCJ に留保したまま (委託契約書に明示)
 - DAAS が法人化した後、権利譲渡を予定
 - DAAS が法人化しないため、そのままの状態
- ・DAAS サーバ
 - = 所有権は国。慶應大学湘南藤沢キャンパス内サーバルームへ設置
 - = DAAS が無償貸与を継続してきた (～2011 年 10 月)
 - = 2011 年 12 月より、株式会社ブロードワークスでのサーバ管理、レンタルサーバの利用。
- ・DAAS 収蔵コンテンツ (新建築社提供、約 6,000 点の写真)
 - = BCJ と新建築社の委託契約により、BCJ が新建築社より無償の利用許諾を得ている (WEB サイト公開、印刷物等への非商用目的利用など、許諾制限あり)
 - DAAS が法人化した後、新建築社は同条件で無償の利用許諾をする (BCJ と新建築社間の委託契約に明示)
 - DAAS が法人化しないため、そのままの状態
 - RAW データについては分散保全、遠隔地保管サービスを利用している。
- ・DAAS 収蔵コンテンツ (補助金による資料収蔵分約 5,000 点の写真、図面、プレゼンデータ)
 - = 各表彰事業の資料収蔵として設計者、写真家、資料保全社より収集。 (WEB サイト公開、印刷物等への非商用目的利用など、許諾制限あり)

3)DAAS は何を指すとしてきたか。運営者の DAAS は何を指してきたか

- ・平成 17 年 DAAS プロジェクト趣旨説明 (パワポ) 【別添2】
- ・DAAS のこれまでの活動と今後 【別添3】

4)DAAS 活動成果について

- ・DAAS のこれまでの活動と今後 【別添3】

アーカイブサービスについて

国土交通省大臣官房官庁営繕課の報告書収蔵(資料1参照)を機に、DAAS で行うアーカイブサービスの具体的な費用の提示が必要となっています。このサービスが実現すれば、営繕部からの継続的な資料収蔵も見込まれ、同時に、外部へ向けたサービス＝収入事業として新たなアーカイブの可能性も見えてくるものと思われます。また、他のアーカイブサービスとの連携も検討しながら費用設定を進めたいと考えます。

まずは、サービス内容(案)を本委員会で議論頂き、明確な根拠のもとに積算した、サービスメニュー毎の詳細と提供費用について、後日メール審議もしくは次回委員会で承認を頂く予定とします。尚国土交通省営繕部からの資料収蔵予定が2013年3月までとなるため、それまでの費用設定を目標とします。

◇ アーカイブサービス(案)

- (a) Web 掲載 (メタデータの付与等を含む)
- (b) 資料 (写真・図面等紙媒体) のデジタルデータ化・RAW データ作成及び Web 掲載
- (c) 恒久的データ保全 (サーバ保管)
- (d) 掲載資料のアクセス数管理
- (e) デジタルデータ利用申し込み受付
 - ① 連絡取り次ぎのみ
 - ② データ送付、費用收受、等を含む受付
- (f) その他
 - ① 資料提供者向けサービスの検討
 - ② アンケート機能の実装等

◇ 検討事項(特に費用面について)

- それぞれのサービスに対し、成果管理に係る DAAS の事務方人件費を積算して費用設定が必要
- 人件費、直接経費のほか、人件費として人を動かすには管理費 (床代、水光熱費等) を積む
- 各サービスに対して
 - ・ Web 掲載 (サーバアップロード・メタデータ作成の作業費) →人件費として枚数や作業量に応じた費用設定の必要がある。また、メタデータ作成にかかる情報提供をどのように設定するかが費用設定の鍵となる。作業の人件費・作業場所、として費用の算出が必要か。
 - ・ 資料のデジタル化→要求者の希望によるが外部委託費用となる。現在の所データ作成は DNP への外注のみであり、設立当時からの退色補正や、デジタルデータ作成のノウハウを蓄積している実績はあるが、デジタルデータ化費用の縮小を検討するのであれば、その他団体との連携などの必要がある。外注経費だけを請求するのではなく、外注する際の人件費、管理費等も含める必要が。

- 補助金事業では DNP でのデジタル化作業費用—1 枚当たり約 3500 円前後にて実施
- ・ 恒久的データ保全（サーバ保管費）→サーバ保管後の維持管理費の考え方（数年間分を見越して発注費に計上し、以後徴収しないのか、維持管理費を別契約にし、年間更新制にするか等）の検討
- ・ 掲載資料のアクセス数管理→DAAS-Web サイトの機能改修が必要となる。各提供者向けの特別ページを作成するのか、日次・月次レポートについてどのように提供するのか。
- ・ WEB 改修等、資料提供者向けのサービス →要求者の希望・改修の度合いによる為費用検討は難しい。応相談として表記すべき

◇ DAAS アーカイブサービス対応について

➤ 開始について

- ・ 背景、目的→まずは営繕部の資料収蔵に向けた費用提示を行うが同時に外部向けサービスを検討(2013 年 3 月掲載を目処とする)。実施後もサービスの概要・詳細共に改善をする方向ですすめる。
- ・ 今後の展開→営繕部の資料収蔵後、団体・協会・個人建築家等のニーズのリサーチ等を行いたい
- ・ 具体的対応（対 営繕部について）→現在はデジタルデータ化された資料が殆どであるが、それ以前の紙媒体の資料の有無等も確認し DAAS の委託業務として提案を行う。

◇ 当該費用の WEB 掲載可否について

- ・ WEB にどの程度まで掲載をするかの検討が必要。オーダーによる個別提示も必要か。
- ・ サービス開始の WEB コンテンツ掲載はどのようにするか。

第 7 期（2012-2013 年度）事業計画

1. 基本方針

これまでのデジタルデータ化の実績や Web の検索システムを利用したサービス・事業を検討し、様々な業界への企画提案を行いアーカイブ事業の展開を図る。

DAAS-Web サイトの機能改善は継続して行い、新規に運営する資料投稿型サイトと相互に検索できる機能を追加する。

コンテンツ制作、特に動画制作においては、大学や高校などの教育機関のプログラムと連携した新たな制作方法を検討する。

広報については、DAAS の活動だけでなくアーカイブ活動の普及・周知のための広報や講演会の企画を行う。

また、アーカイブ全体の課題と DAAS の役割を見据え、団体、大学等に連携を呼びかけながら、アーカイブ活動が向上する方法を検討する。例えば、各団体の特性を活かした棲み分けと相互協力、資料の利活用、収入や人材の確保、職能確立等の問題を統合的な視点で捉え、解決する方法を検討し、実現していく。

2. 事業計画

(1) コンテンツの整備

① 動画収録

第 6 期に計画した写真家、評論家のインタビューや講演会企画などの動画収録を行い、Web サイト上で公開する。ビデオ制作については、ビデオ制作会社への外注、DAAS 事務局での簡易撮影や編集の他に、大学や高校と連携し、学生参加による映像制作の実施など、複数の方法を検討する。

② 収蔵作品の解説等の掲載

DAAS で収蔵する資料についての解説コラムや、音声コンテンツなどの制作を行う。必要であれば外部に執筆や制作を依頼する。

③ 学生コンペ企画の実施。

第 5 期まで行ってきた卒業設計大賞や、その他団体で実施する学生コンペ・イベント（例：トウキョウ建築コレクション、卒業設計日本一決定戦 等）への協力、もしくは、「アーカイブ」をキーワードとした新規コンペ企画案を検討し実施する。

④ オープンアライアンス活動

これまでのアライアンスの実績を他のアーカイブや資料保有者に示し、活動の協力と連携を広く呼びかける。現在 DAAS の収録にはない、スケッチや技術・設備等の資料を保有する関係機関との連携も検討する。

⑤ モバイルサイト

「モバイル」の特性を活かし、街歩きなどに利用しやすいコンテンツを企画・制作する。必要であれば外部への制作依頼を行う。

(2) Web サイトの改善

データベースに保存されている非公開資料の公開了承作業や文字情報の整備などを継続して実施する。また、新規に運営する資料投稿型サイトの資料と DAAS-Web サイト内の資料とを関連づけし、相互に閲覧出来るよう機能改修を進める。

(3) 基本システムの運営・管理

レンタルサーバ、WEB 制作会社でのバックアップ、高精細画像の複数箇所でのデータ保管体制を引き続き整備する。

(4) DAAS の広報・実空間展示等の企画立案

各団体の全国大会や、社会起業家支援施設での展示、プレゼンテーション等を行う。また、デジタルアーカイブスの方向性や連携についての議論の場として、講演会などを企画する。実施にあたっては教育や文化的事業を支援する団体への助成金の申請も検討する。

(5) 法人化の準備

引き続き一般社団を目指し内部規定と事務局体制の整備を進める。

(6) 会員向けサービスの強化

会員のアーカイブへの希望や一般閲覧者のDAASに対する意見など、Webサイトの意見集約ページを活用しリサーチを行う。その結果を今後の事業方針に反映させていく。

(7) 新事業の検討

第6期にヒアリングを行った他団体、美術館、図書館などに、DAASのシステムを利用したデータベース構築や展示等を事業として提供できるかどうか試行する。具体的な提案としては、美術館などの展示企画に於いてDAASの検索システムを利用した映像展示、他アーカイブのデータベース構築時の協力支援などが考えられる。

(8) その他

その他、DAASの目的に資する活動を実施する。



建築・空間デジタルアーカイブス の設立に向けて

Digital Archives for Architectural Space

平成17年10月



建築・空間デジタルアーカイブスとは

建築・空間デジタルアーカイブスとは、
日本政府の支援のもと、
以下の目的に賛同する者によって構築される
主としてネット上で発展的・継続的に
活動を展開するシステム。




建築・空間デジタルアーカイブスとは

- 優れた空間、景観を構成する建築物等の写真、図面、スケッチ、記録等を収蔵し、ネットワークを通じ、広く国内外に情報を発信、公開することにより、建築物・諸施設の空間の質、デザインの向上及び良好な建築景観の形成を図る（画像などに関わる権利の保護・管理に留意）。



建築・空間デジタルアーカイブスとは

- ネット上において、
建築や関連美術等の設計、計画、
教育プログラム等の提案募集、
共同開発等を進めるプレイグラウンドを展開し、
そのビジネスモデル化を推進するとともに、
国内外の専門家、学生、市民、企業、行政、
美術館等をつなぐ建築及び関連美術等の
情報センターを参加者の企画提案により
構築する等の活動を通じ、
建築、関連美術・芸術等の発展を図る。




建築・空間デジタルアーカイブスの活動イメージ

○アーカイブ機能

- 資料(写真、図面等)をデジタル化してサーバに収納し、解説等を加え、国内外で検索可能なウェブページを整備。
- 低解像度の画像を無料で検索、閲覧を可能にする他、会員向け情報の利用については有料提供。
- 当初は建築物を中心に収集し、将来的には土木工作物なども対象。

○プレイグラウンド機能

- ネット上で建築設計や景観形成に係る実用、教育用あるいは市民がゲーム感覚で楽しめるサイバー建築空間の共同設計など、プログラム開発のコンペ・提案募集、共同開発などを行なう機会と場を提供。
- 提案者とアーカイブスによる提案の事業化を推進。
- その他様々なデジタルデータの利用に対応(有料にて)。



建築・空間デジタルアーカイブスの活動イメージ

○交流機能

- 市民が建築や景観について記憶、思い出を残すサイトや、批評、印象を設計者等と語り合うサイトなどを展開。
- 世界の建築、美術関係者(個人、企業、大学、行政)間の情報交換、作品発表、交流を支援。

○実空間における展開

- デジタルコンテンツを使い連携美術館等の実スペースにおける企画展示、設計者との交流等を実施。
- 建築物の視察ツアーの企画や、設計事務所等のオープンデスクなどを仲介。
- コンテンツと地図情報を携帯電話等へ配信することによるガイドブック機能の構築。


運営組織のイメージ(H17年度中の活動)

■ 発起人会

- 代表 榎 文彦 氏
- 発起人 村上建築学会長、宮本建築士会連合会会長、
小川建築士事務所協会連合会会長、
小倉JIA会長、野村BCS会長、
立石BCJ理事長、和泉国土交通省審議官
ほか 村井慶応大学教授、隈研吾氏、
吉田新建築社社長ら建築界有志を含む。
(一部予定を含む)

* 上記のほか資料の権利者の中から主体的にプロジェクトを進めることのできる団体の代表など、今後更に呼びかけを行う。

- 幹事会で準備委員会の作成した企画案の検討、決定



運営組織のイメージ(H17年度中の活動)

■ 準備委員会・・・ 必要に応じ随時開催

□ 委員(発起人の推薦による)

南政樹(慶応大学)、遠藤緑生(慶応大学)、
西沢立衛(横浜国大)、松原弘典(慶応大学)、
本江正茂(宮城大学)、大森晃彦(新建築社)

■ 事務局

□ (財)日本建築センター 他

(H18年度以降コンソーシアムに事務局移行予定)



運営組織のイメージ

(H18年度当初に設立し、本格活動を開始予定)

- 建築・空間デジタルアーカイブス(コンソーシアム)
- 理事会
 - 理事長： 榎 文彦氏
 - 理事等： 発起人等に要請予定
- 運営委員会
 - 企画部会：コンソーシアムの企画、運営、展覧会企画等
 - コンテンツ部会：コンテンツの整備
(収蔵するコンテンツに関する検討)
 - システム部会：システムの整備



事業計画

- 8月 事務局発足
第1回準備委員会
- 9月 システム検討、資料収集、
第2回準備委員会
- 10月 シンポジウム開催
- 11月 デジタル化作業開始
第3回準備委員会
- 3月 アーカイブス暫定供用開始
- 5月 コンソーシアム立ち上げ



収支予算(案)【17年度】

- ・収入：2億数千万円(国費約2億円(決定)、民間数千万円(予定))
- ・支出
 - (国費)
 - (民間)
 - 準備委員会運営 2,000万円
 - コンテンツ整備 8,000万円 コンテンツ提供を依頼
 - システム整備 6,000万円
 - イベント・広報等 2,000万円
 - コンソーシアム設立経費 一定の拠出を要請予定
 - 予備費 2,000万円



収支予算(案)【18年度以降】

・収入

関係団体会費(20団体程度)

企業会費(100社程度)

大学会費(国内外100校程度)

個人会費(数百名)

利用料収入(高画像写真等の商用利用料等)

事業収入(プログラム提案の共同開発などで事業収益予定)

* 会員には有料コンテンツの利用等において優遇措置を予定

・支出

事務局人件費

サーバ設置経費

データ更新、保守

企画・事業費

DAAS

The archives sharing the architectural space in future and past

LOGIN >>

新規登録 >> | パスワードを忘れた方 >>



Digital Archives for Architectural Space

DAASが収蔵する建築資料を様々な方法で検索できます

キーワード検索

KEYWORD

竣工年検索

COMPLETION YEAR

地図検索

MAP

カテゴリー検索

CATEGORY

表彰事業検索

AWARD

詳細検索

FINE SEARCH

DAAS NOW

DAASのこれまでの活動と今後

建築・空間デジタルアーカイブスコンソーシアム 2012

はじめに

DAASコンソーシアムは、消失の危機又は埋もれている**貴重な建築および関連資料等**を、**デジタル技術**によって保全、再生、活用し、日本の優れた建築や街並み等の文化を広く国内外に**インターネットを通じて紹介**することを目的に、2006年12月に発足し、以来、**世界初の総合的な建築・空間のデジタルアーカイブ**として、約4年半活動してきました。

この間、日本の建築界は、改正建築基準法、改正建築士法、瑕疵担保新法などの施行、また、悪化した経済状況への対応などが急務とされ、さらに2011年には東日本大震災がおきるなど、極めて慌ただしい時期が続きました。その中で地道に活動を続け、国交省から引き継いだ60～70年代に撮影された約6,000点の建築写真デジタルデータと、その公開システムであるDAASウェブによる資料の諸元や閲覧機能に対して、更新と改善を行ってきました。また、新規コンテンツの収集・作成活動として、主要な建築表彰の受賞作品に関する資料や、著名建築家のインタビュービデオ等、建築・街並み・景観に関するデータを収集・公開してきました。平成20年度（第2期～第3期）からは、主要団体の表彰作品の資料収集を集中的に行い、**2011年U I A東京大会開催の時期を目標に、高い評価を受けた近現代の日本建築を総覧できるコンテンツを整備することについて、国土交通省、関係団体の支援が得られることとなりました。**他のアーカイブとの連携もすすめ、貴重な図面資料のデジタル化作業を行い、収蔵の幅を広げるなど、これまでの活動は、現会員からの貴重な予算で、効果的にアーカイブを整備し、ウェブ利用増進を図る基盤作りとして活動を継続してきたといえます。

しかしながら、収蔵が望まれる貴重な資料が数多くあることに対し、4年半の活動期間で新たに収蔵できた資料は約5100点にとどまり、過去1年間のウェブ訪問者も7万人に満たないことなど、**まだまだアーカイブとして十分な活動ができている状況とは言えません。**収蔵資料の充実とウェブ利用者の拡大、ひいては**活動への理解・支援の拡大は『にわとりと卵』的な関係にあります。**今後DAASコンソーシアムは当初の目的を果たすため、**現会員の皆様と新しく趣旨にご賛同いただける新会員の皆様のご理解とご協力の下、引き続き国からもご支援を頂き、今後も一層の活動を展開していくこととしております。**皆様には本活動の趣旨にご賛同いただきますよう、改めてご支援を頂きたいお願い申し上げます。

DAAS設立の背景

- 失われつつある優れた建築資料の保全
 - 褪色が進む1960～70年代のポジフィルム
 - 色再現が困難になってきた1990～2000年代のフィルム
 - 時間の経過と共に散逸する図面やスケッチ資料
- 世界に誇るべき我が国の文化と技術、そしてその責任
 - 我が国を形成する優れた建築・街並み・景観などの文化的資源
 - IT先進国としてのデジタル技術を活用した文化保護の推進に対する責任
 - デジタル化に伴う著作者の権利に対する配慮
 - インターネット時代を反映した有効な活用方法
- なぜデジタルアーカイブなのか？
 - インターネットを通じた情報発信による文化の継承
 - 現物資料のデジタルスキャニング技術によるレプリカ化
 - 劣化した資料のレプリカに対するデジタル技術による補正
 - 現物資料より取り扱い易くなったレプリカのアーカイビングによる保存
- 情報社会を見越した資料提供のあり方と資料活用への挑戦
 - 誰もがインターネットを通じて手軽に情報へアクセス、発信できる社会
 - 検索結果として得られる情報から情報素材として活用
 - 著作者や資料保有者の権利保護と事業趣旨に則った運用方法の面立への挑戦

デジタルアーカイブの特性

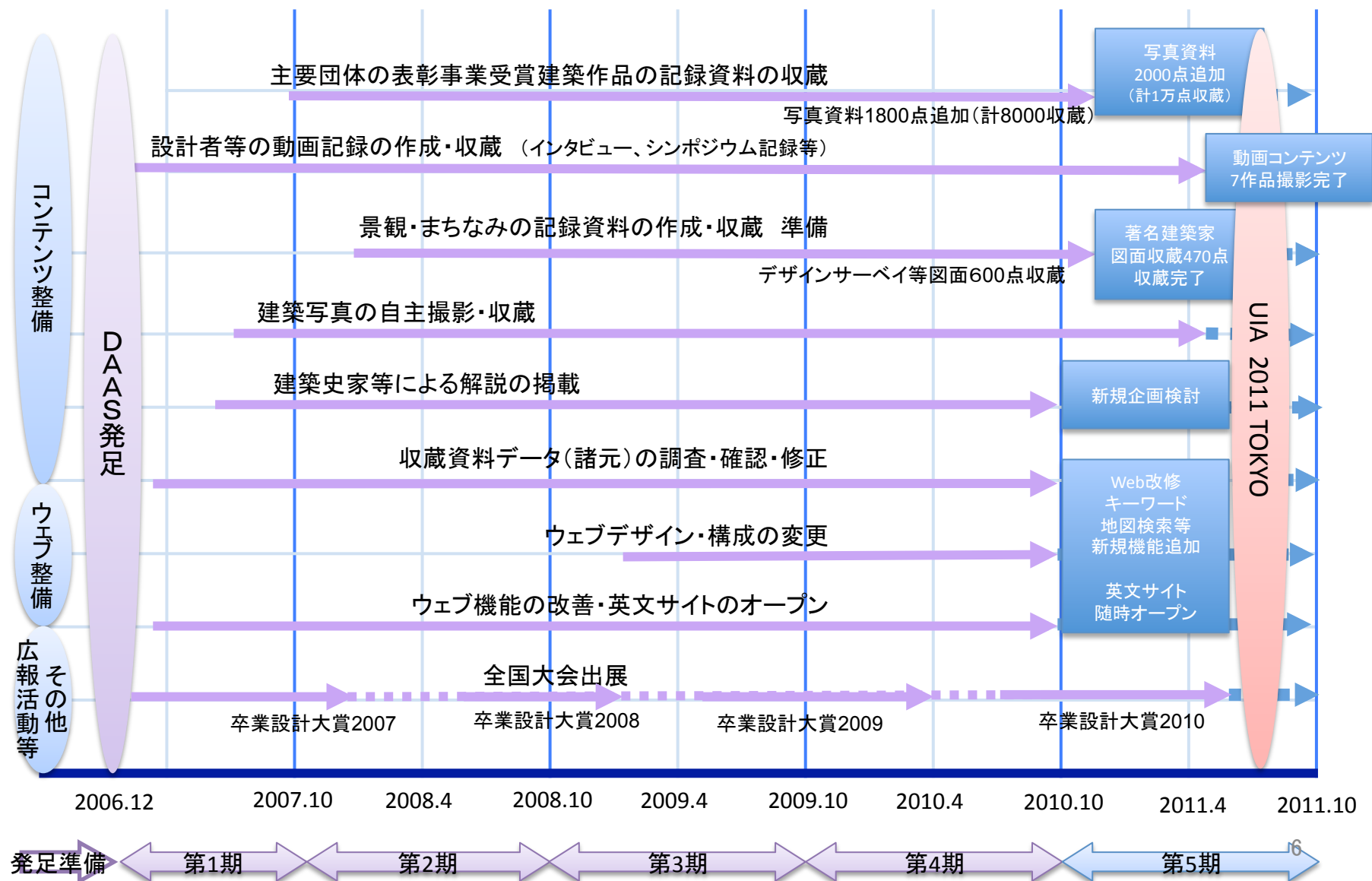
- デジタル化によって
 - 現物資料の不用意な利用を減らせる
 - 利用が制限される資料もレプリカなら利用可能に
 - 物理的な取り扱いに対する注意が軽減可能に
 - 現物資料では実現が難しい表現が可能になる
 - 拡大・縮小、文字の読み取り、注釈などの追記 etc...
- アーカイブ化によって
 - 総覧性や検索性能を高められる
 - 現物資料のインデックスだけではなく参照可能なレプリカが存在により、内容に対するアクセスを一元化
- デジタルアーカイブ化によって
 - 埋もれていた貴重な資料に新たな息吹が与えられる
 - デッドストックがライブストックに！

DAASの使命

- アーカイブスとして
 - 建築・景観・街並みに関するあらゆる資料を収集・蓄積
 - 社会から評価を受けた建築・景観・街並みに関する資料を対象
 - 組織や資料の内容を超えたオープンな「収蔵庫」として、資料収集と蓄積を行う
 - 現物の物理保存とデジタル情報のレプリカ保存の両立
 - 物理保存は「場所」「風化」など物理的制約や影響を色濃く受ける
 - レプリカ保存は再現可能な情報のみで構成され物理的制約を受けにくい
 - 金沢工業大学建築アーカイヴス研究所との協業による現物保存に対するサービス提供
- アライアンスセンターとして
 - 建築アーカイブが内包している問題を解決
 - 保護から活用への転換
 - 国内の建築アーカイブの多くは資料の積極的な活用を行わない
 - 大学、設計事務所・ゼネコンなどが運営母体となり「保護」を目的とする
 - 管理コストのかかる公開はほとんど行われない
 - 物理的にその場へ行かなければ資料内容を確認することができない
 - 情報として公開・発信されず限られた人しか知らない「デッドストック」に
 - 資料の存在が明らかにされない
 - 経緯や内容を把握している人がおらず資料整理すらできない
 - デジタル技術によって現物資料の保護と情報の活用の両立が可能に
 - オープンなアーカイブ・アライアンスを目指す
 - 国内の建築・景観街並みを網羅し様々な糸口によって体系化された知の構築

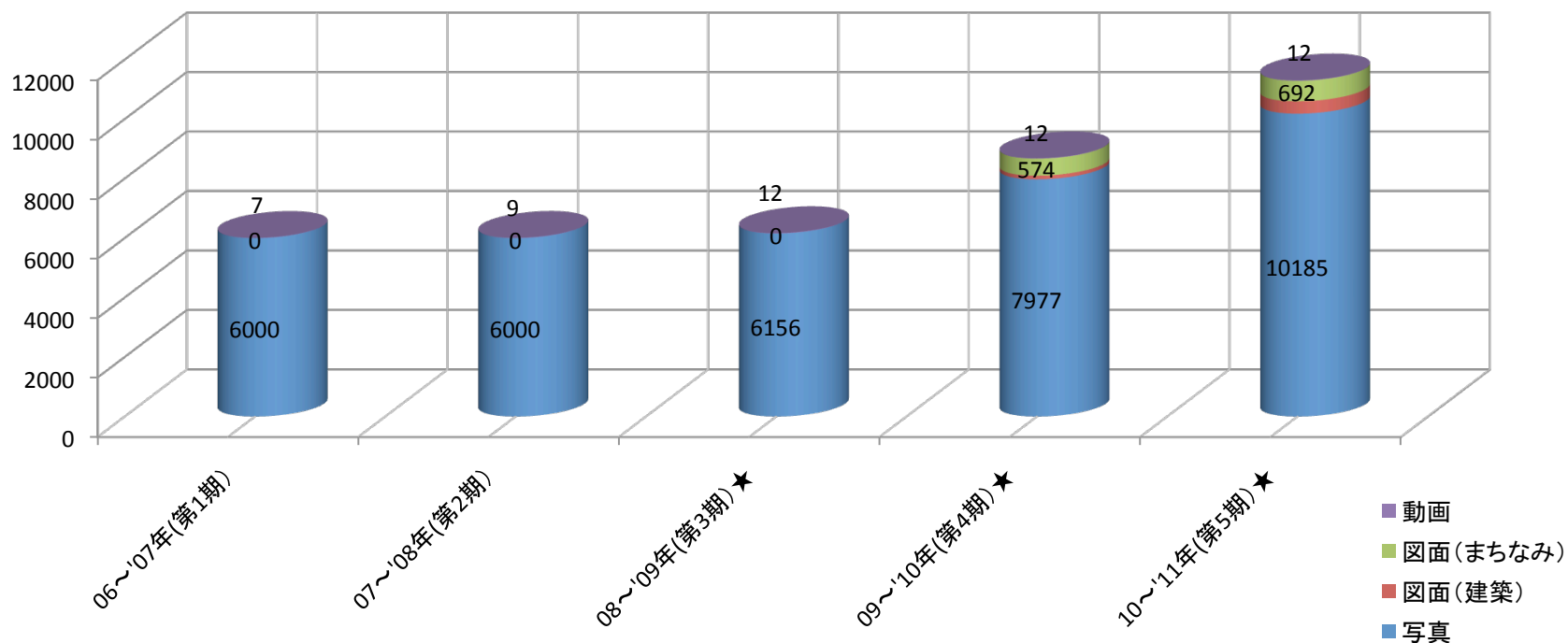
これまでの主な活動

第1期(2006年12月)～第5期(2011年9月)



これまでの資料収蔵数の推移

第1期(2006年12月)～第5期前期(2011年4月)



収蔵数推移と内訳	写真		図面		動画	
	作品数	写真数	作品数	図面数		
第1期(設立当時)	1229	6000			2	写真: 新建築社
第2期('07~'08年)					3	
第3期('08~'09年)	15	156			4	写真: 表彰作品
第4期('09~'10年)	324	1821	32	696	3	写真: 表彰作品 図面: JIA-KITアーカイヴ収蔵品および池原氏資料
第5期('10~'11年)	491	2208	11	410		写真: 表彰作品 図面: JIA-KITアーカイヴ、DIK設計室、集工舎図面
合 計	2059	10185	43	1106	12	

これまでの活動

第1期(2006.12-2007.9)

2006年12月の設立総会によるDAAS発足後、事務運営体制の整備、ウェブの機能更新（キュレーター機能の追加）等を行うとともに、2007年5月には、菊竹清訓氏を招き、DAAS収蔵写真を高精細の大スクリーンで上映しつつ作品解説を行うワークショップを開催した（記録は動画でウェブに掲載）。また、次世代に不可欠なIT技術を有する若手設計者育成と、DAAS活動の大学教育機関への周知等を目的として、「デジタル卒業設計大賞2007」を隈研吾氏（DAAS理事）を審査員に公募。

第2期(2007.10-2008.9)

ウェブの検索機能の改善等を進めるとともに、収蔵された60年代、70年代の建築物の現況や清家清氏設計の住宅を除却前に撮影するなど新規コンテンツの収録、建築史家等による収蔵記録の解説等の掲載、収蔵作品の諸元データの確認、修正作業等を進めた。また、後半期においては、国の補助事業として会員団体と協力し、主要な表彰事業の受賞作品のリスト化等の作業を進めた。「デジタル卒業設計大賞2008」を六角鬼丈氏（DAAS理事）を審査員に公募。

第3期(2008.10-2009.9)

第2期に引き続き国の補助事業を活用して、会員団体の主要な表彰事業の受賞作品について諸元等のデータの整理を進めるとともに、関連資料を収蔵するための権利関係や技術的な課題把握等を目的に、会員企業（久米設計、日建設計、日本設計、山下設計）の受賞作品の写真（一部図面）をケーススタディとして収集・デジタル化した。また、発足時より目標としていた景観・まちなみに関する資料の収集準備を開始し、住宅団地や歴史的街並みなどのリストを作成。設計者に対するインタビュービデオの作成を進め、池原義郎氏、難波和彦氏、池田武邦氏、内田祥哉氏、古谷誠章氏の撮影を進めた。また、コンテンツの充実を受け、ウェブの構成、デザインの変更を準備。「デジタル卒業設計大賞2009」を難波和彦氏（DAAS理事）を審査員に公募。事務局を文京区（株）新建築社）から千代田区（ベターリビング）に移転。

第4期(2009.10-2010.9)・第5期 (2010.10-2011.9)

(社)日本建築学会、(社)日本建築士会連合会、(社)日本建築士事務所協会連合会、(社)日本建築家協会、(社)建築業協会、(社)日本構造技術者協会の主要な表彰事業の受賞作品について、過去から現在までの関連資料を、UIA東京大会の開催時期に公開できるよう収録。物理収蔵とレプリカ（デジタル）収蔵など各アーカイブの特性を生かし、オープン・アーカイヴス・アライアンスを設立。JIA-KITアーカイヴスとの協業を開始し、原図、マイクロフィルム、等々の建築、街並みの図面資料のデジタル化を行った。

雑誌社、竣工写真撮影会社、個人写真家等にも資料収蔵の協力を得られたため、図面・写真等の収蔵資料数は設立時の6,000点と併せて、計11,000点に達した。収蔵作品の拡大に対応すべく、DAAS-Webサイトの検索機能改修と大幅なデザイン改修を実施。英文サイトのオープンや、モバイル利用に対応する地図機能や現在地情報取得機能の追加など随時改修を進めている。

「デジタル卒業設計大賞」は、古谷誠章氏（DAAS理事）を審査員として公募。講評の様子と各応募者からのデータ等を収録。

事務局については（財）ベターリビングの移転に伴い、委託費用の節減、事業の機動的な実施等を図り、千代田区平河町に移転。

UIA2011東京大会では、本会場の東京国際フォーラムにて、アーカイヴについての若手建築家、研究者のトークセッションを企画。また、宮城大学、首都大学との連携で、被災地のインタビュー、写真コンテンツの展示・紹介を行う。

第5期までの収蔵資料数が目標に達し、これまでの保全型コンテンツから、閲覧者投稿型、参加型のウェブサイトの機能追加を検討し、今後多様化する情報の形式にも対応するウェブサイトへの改修を検討している。またコンテンツを活用したガイドコンテンツ、モバイル用サイト、アプリ制作、等々も検討している。

今後の活動予定

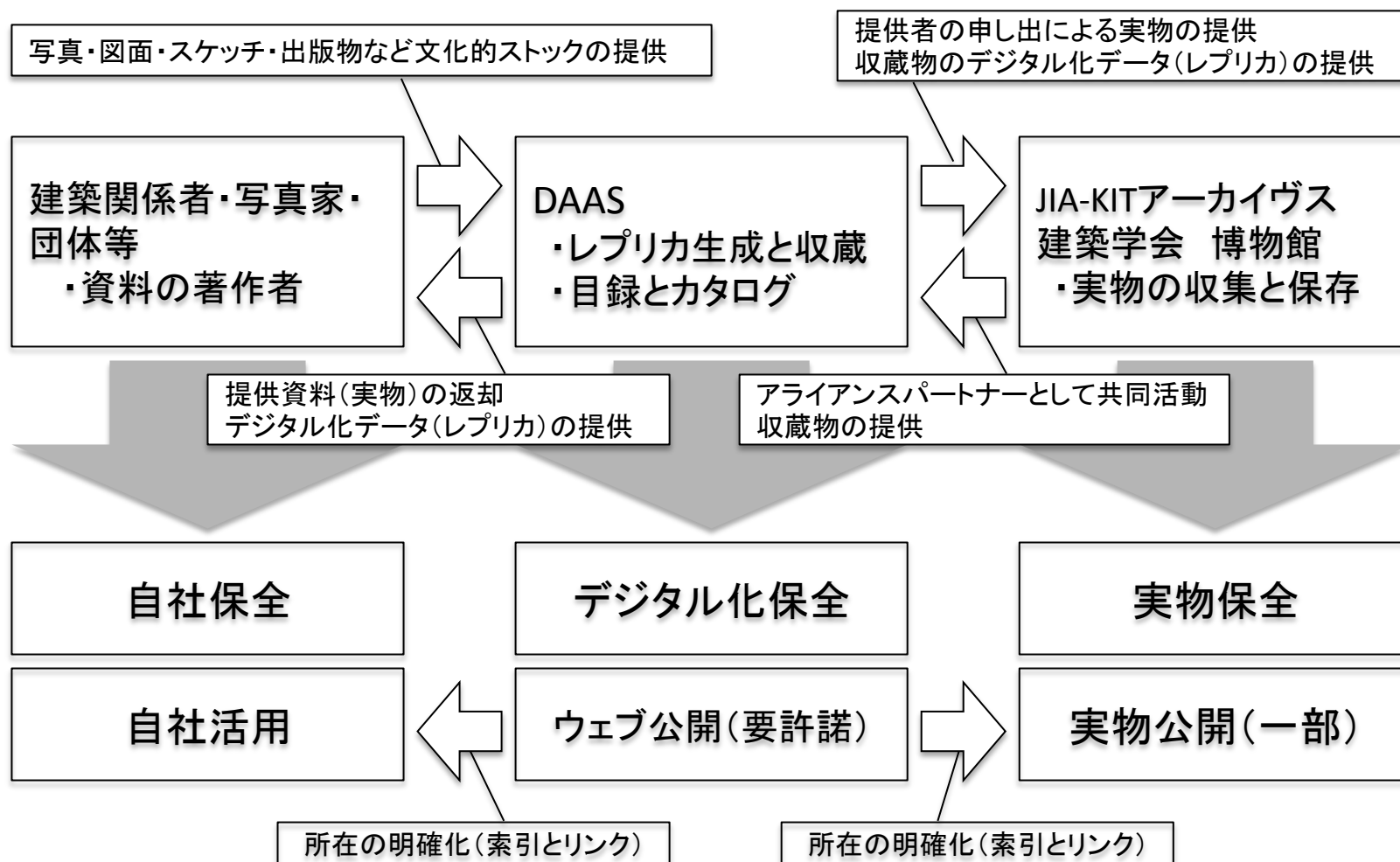
5年後 (2014)

日本各地において評価される建築物や街並み、環境など多様な観点からの優良建築物等について収蔵を拡大。また収蔵されたコンテンツの見せ方などを工夫しながら、モバイル利用、教育利用等、コンテンツの企画・制作を行っていく。

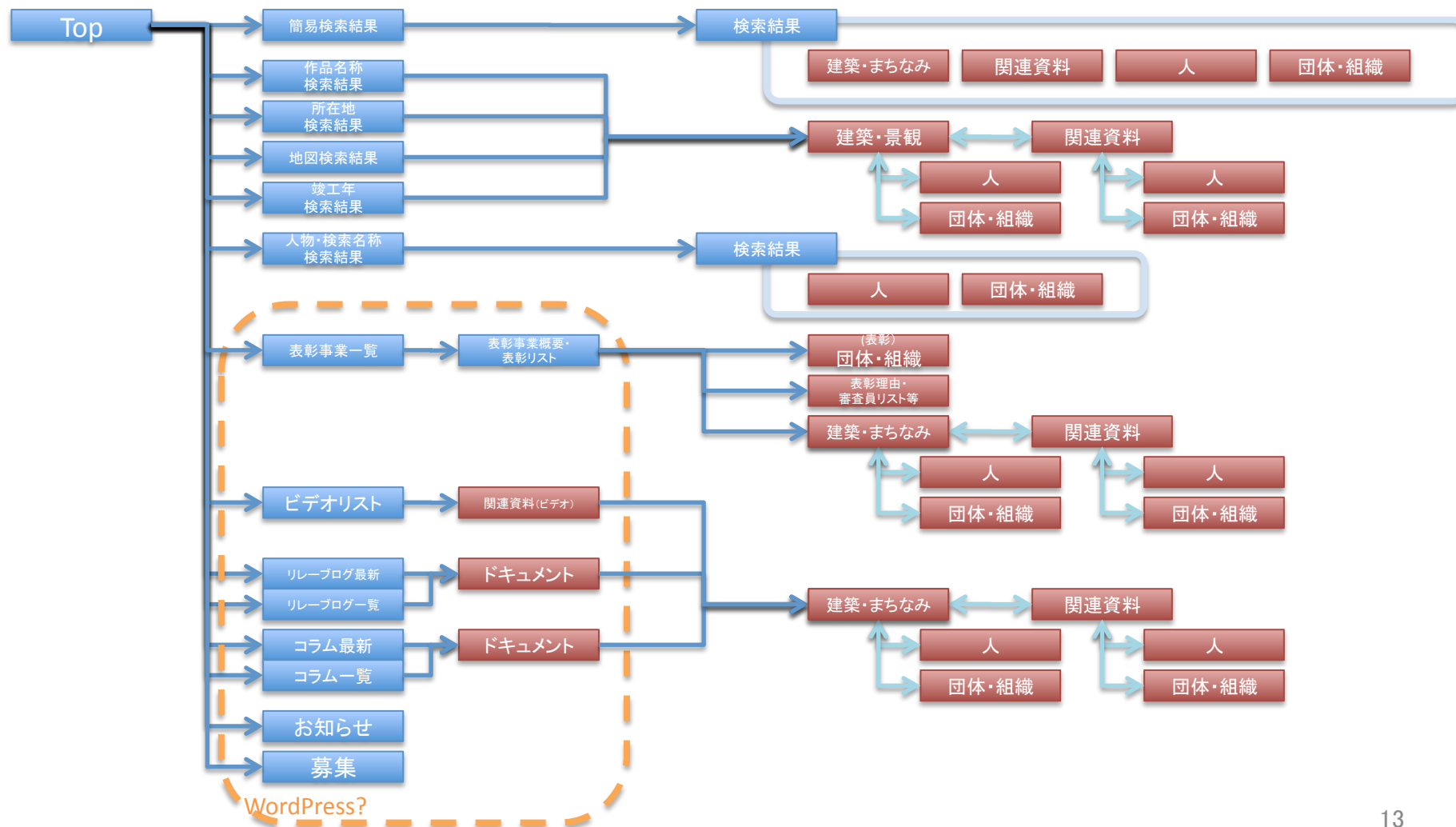
10年後 (2019)

日本の優れた建築、街並みを過去から現代まで総覧できるコンテンツの整備と、デジタルアーカイブスとしての世界的な評価を確立。

DAASの活動：関連団体との位置づけ



DAASウェブ：構成変更イメージ



DAASウェブ：画面構成イメージ





A キーワード検索
KEYWORD

'90 竣工年検索
COMPLETION YEAR

📍 地図検索
AREA

📁 カテゴリー検索
CATEGORY

★ 表彰事業検索
AWARD

Q+ 詳細検索
FINE SEARCH

[Home](#) | [よくある質問](#) | [お問い合わせ](#) | [新規メンバー登録](#) | [ログイン](#)

Search

| キーワード

検索

Option

| 地域

| カテゴリー

住居施設

| 竣工年

1990 - 1990

検索

Results



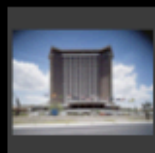
00027994

鹿島建設本社ビル
東京都港区赤坂
鹿島建設



00027164

武蔵野美術大学美術資料図書館
東京都小平市小川町1-736
大成建設東京支店



00027150

国民宿舎鶴の岬遊泳プール
茨城県多賀郡十王町伊師浜
秋山工務店



00027150

大樹寺収蔵庫
愛知県岡崎市鶴田町大樹寺
境内
三和建設



00027872

渋谷金属産業東京支店
東京都練馬区豊玉2-3-11
清水建設



00027994

雑創の森学園 そよかぜ幼稚園・プレイス...
京都府綴喜郡田辺町大字大住小字虚空
竹中工務店



00027164

三和ビル
熊本県菊池市隈府775
三和建設



00027150

京都銀行協会銀行会館
京都府京都市中京区河原町二条下ルーの船入町535の2
竹中工務店



00027872

武蔵野美術大学美術資料図書館
東京都小平市小川町1-736
大成建設東京支店



00027994

鹿島建設本社ビル
東京都港区赤坂
鹿島建設



00027164

武蔵野美術大学美術資料図書館
東京都小平市小川町1-736
大成建設東京支店

< PREV

1 2 3 4 5 6 7

NEXT >



A キーワード検索
KEYWORD

'9 竣工年検索
COMPLETION YEAR

📍 地図検索
AREA

📁 カテゴリー検索
CATEGORY

★ 表彰事業検索
AWARD

Q+ 詳細検索
FINE SEARCH

[Home](#) | [よくある質問](#) | [お問い合わせ](#) | [新規メンバー登録](#) | [ログイン](#)

1980 - 1987

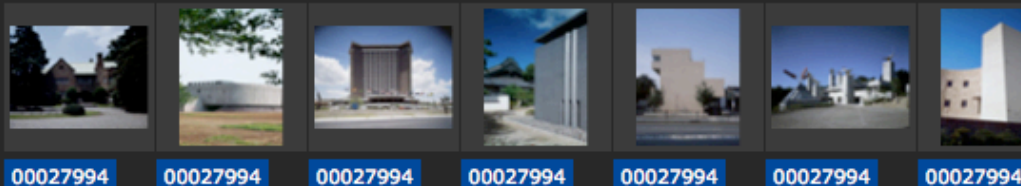
| 竣工年

1990 - 1990 [検索](#) [クリア](#)

1979 1980 1981 1982 1983 1984 1985 1986 1987 1988

< >

1980



Information

No. 00027994

Architecture 雑創の森学園 そよかぜ幼稚園・プレースクール

Architects 山田太郎建築設計事務所


Architect 山田太郎

Constructor 竹中工務店


Site 京都府綴喜郡田辺町大字大住小字虚空


Condition 現存


[DETAIL >](#)





DAAS
Digital Archives for Architectural Space


 キーワード検索
KEYWORD

 竣工年検索
COMPLETION YEAR

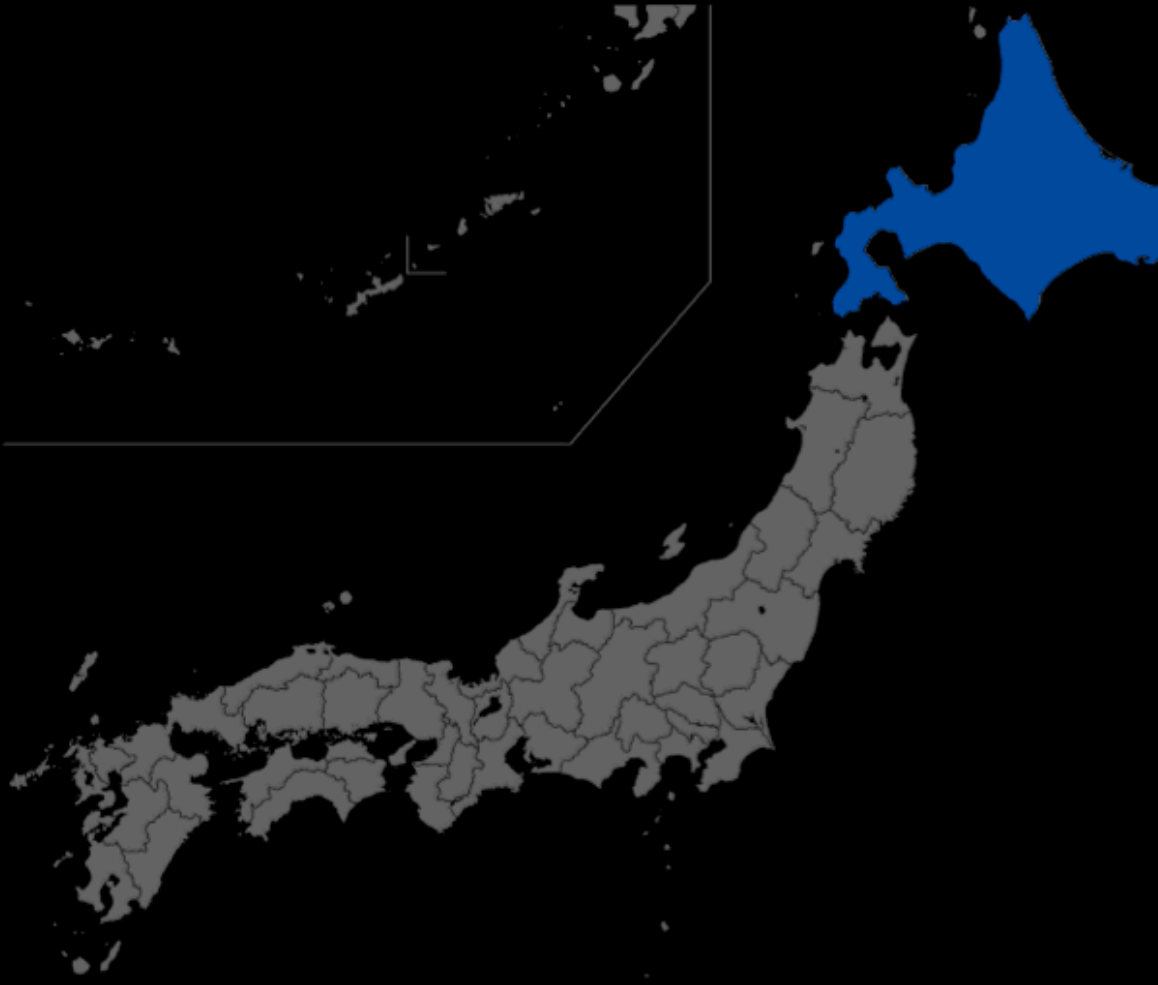
 地図検索
AREA

 カテゴリ検索
CATEGORY

 表彰事業検索
AWARD

 詳細検索
FINE SEARCH

Home | よくある質問 | お問い合わせ | 新規メンバー登録 | ログイン



東京都

00027994	雑創の森学園 そよかぜ幼稚園・プレスクール
00027994	武蔵野美術大学美術資料図書館
00027994	国民宿舎鶴の岬遊泳プール
00027994	大樹寺収蔵庫
00027994	渋谷金属産業東京支店
00027994	三和ビル
00027994	京都銀行協会銀行会館
00027994	鹿島建設本社ビル
00027994	雑創の森学園 そよかぜ幼稚園・プレスクール
00027994	武蔵野美術大学美術資料図書館
00027994	国民宿舎鶴の岬遊泳プール
00027994	大樹寺収蔵庫
00027994	渋谷金属産業東京支店
00027994	三和ビル
00027994	京都銀行協会銀行会館

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム
Copyright (C) 2009 DAAS All rights reserved.

著作権について | セキュリティの考え方 | プライバシーの考え方 | 免責事項



キーワード検索
KEYWORD

竣工年検索
COMPLETION YEAR

地図検索
AREA

カテゴリー検索
CATEGORY

表彰事業検索
AWARD

詳細検索
FINE SEARCH

[Home](#) | [よくある質問](#) | [お問い合わせ](#) | [新規メンバー登録](#) | [ログイン](#)

東京都の建物一覧

[< LIST](#)



	00027994 鹿島建設本社ビル 東京都港区赤坂 鹿島建設
	00027164 武蔵野美術大学美術資料図書館 東京都小平市小川町1-736 大成建設東京支店
	00027150 国民宿舎鶴の岬遊泳プール 茨城県多賀郡十王町伊師浜 秋山工務店
	00027150 大樹寺収蔵庫 愛知県岡崎市鴨田町大樹寺 境内 三和建設
	00027872 渋谷金属産業東京支店 東京都練馬区豊玉2-3-11 清水建設



キーワード検索
KEYWORD

竣工年検索
COMPLETION YEAR

地図検索
AREA

カテゴリー検索
CATEGORY

表彰事業検索
AWARD

詳細検索
FINE SEARCH

[Home](#) | [よくある質問](#) | [お問い合わせ](#) | [新規メンバー登録](#) | [ログイン](#)

Search

団体	年	表彰事業
住居施設	1990	住居施設

Option

地域	カテゴリー	竣工年
---	住居施設	1990 - 1990
		検索

Results

— 表彰団体、または、表彰事業の説明はこの位置に入ります。表彰団体、または、表彰事業の説明はこの位置に入ります。表彰団体、または、表彰事業の説明はこの位置に入ります。



00027994

鹿島建設本社ビル
東京都港区赤坂
鹿島建設



00027164

武蔵野美術大学美術資料図書館
東京都小平市小川町1-736
大成建設東京支店



00027150

国民宿舎鶴の岬遊泳プール
茨城県多賀郡十王町伊師浜
秋山工務店



00027150

大樹寺収蔵庫
愛知県岡崎市鶴田町大樹寺
境内
三和建設



00027872

渋谷金属産業東京支店
東京都練馬区豊玉2-3-11
清水建設



00027994

雑司の森学園 そよかぜ幼稚園・プレイス...
京都府綴喜郡田辺町大字大住小字虚空
竹中工務店



00027164

三和ビル
熊本県菊池市隈府775
三和建設



00027150

京都銀行協会銀行会館
京都府京都市中京区河原町二条下ル一の船入町535の2
竹中工務店



00027872

武蔵野美術大学美術資料図書館
東京都小平市小川町1-736
大成建設東京支店



00027994

鹿島建設本社ビル
東京都港区赤坂
鹿島建設



00027164

武蔵野美術大学美術資料図書館
東京都小平市小川町1-736
大成建設東京支店

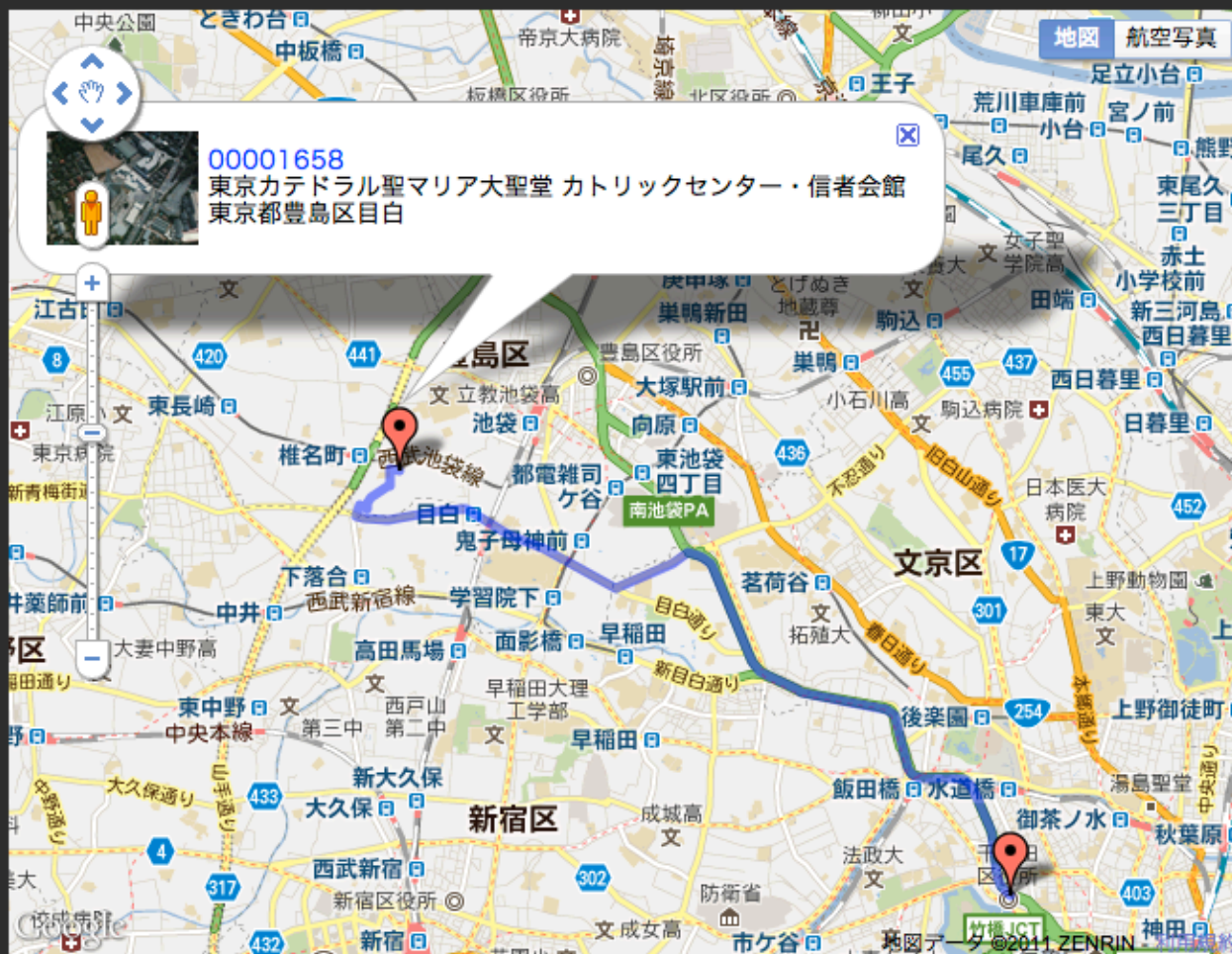
< PREV

1 2 3 4 5 6 7

19

NEXT >

現在地からのルート検索機能



00001658
東京カテドラル聖マリア大聖堂 カトリックセンター・信者会館
東京都豊島区目白

MyDAASへ建築資料を保存することで、後で地図の表示やルートの検索が簡単にできるようになります。

[> MyDAASへ登録](#)

現在地からのルートを検索

住所を指定してルートを検索

検索

●徒歩 ●車

Search

| キーワード

Results



Detail

× CLOSE

建築資料の詳細情報



作品名	別子銅山記念館
設計事務所	日建設計・大阪
設計者	寺本敏則 横川隆一
施工者	住友建設四国支店・別館開発工事
所在地	愛媛県新居浜市角野新田町大山積神社 aichi
建築タイプ／主要用途	記念展示館
構造	鉄筋コンクリート造
地域地区	市街化調整区域
道路幅員 (m)	西: 6.0m (前面道路)
敷地面積 (㎡)	4,178.00
建築面積 (㎡)	946.07
延床面積 (㎡)	1,053.95 ※備考 1階824.54 2階229.41
規模／階数	地上2階
設計期間	1972年8月～ 1974年4月

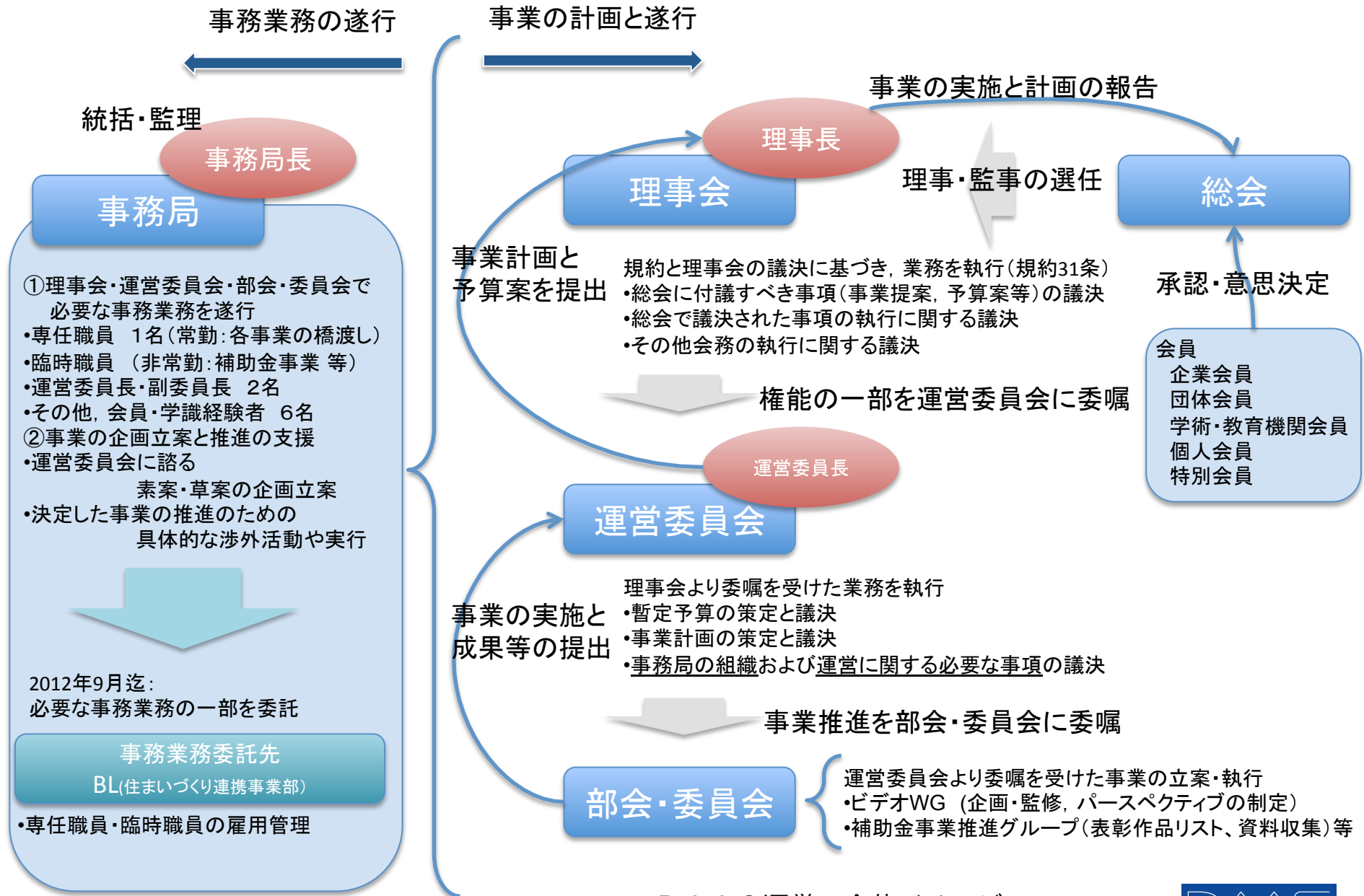
田町大樹寺

銀行会館
京区河原町
入町535の2

< PREV

1 2 3 4 5 6 7

NEXT >



建築・空間デジタルアーカイブス(DAAS)コンソーシアム会員

(順不同 敬称略)

※個人・団体・企業会員を含む

槇 文彦(建築家)
鈴木 博之(建築史家)
隈 研吾(建築家)
六角 鬼丈(建築家)
難波 和彦(建築家)
古谷 誠章(建築家)
池原 義郎(建築家)
社団法人 日本建築学会
社団法人 日本建築士会連合会
社団法人 日本建築士事務所協会連合会
社団法人 日本建築家協会
社団法人 日本建設業連合会
社団法人 住宅生産団体連合会 会長
一般財団法人 日本建築センター
財団法人 ベターリビング
株式会社 新建築社
五洋建設株式会社
株式会社 奥村組
株式会社 日本設計
株式会社 熊谷組
興和不動産株式会社
前田建設工業株式会社
清水建設株式会社
積水ハウス株式会社
大成建設株式会社
株式会社 竹中工務店
株式会社 日建設計
株式会社 大林組

鹿島建設株式会社
住友不動産株式会社
三菱地所株式会社
株式会社 山下設計
三井不動産株式会社
東京建物株式会社
慶應義塾大学
株式会社 連合設計社市谷建築事務所
株式会社 建築資料研究社
大和ハウス工業株式会社
社団法人 日本建築構造技術者協会
財団法人 建築技術教育普及センター
社団法人 建築設備技術者協会

建築・空間デジタルアーカイブス(DAAS)運営委員

■団体会員(選出必須会員)

社団法人 日本建築学会
社団法人 日本建築士会連合会
社団法人 日本建築士事務所協会連合会
社団法人 日本建築家協会
社団法人 日本建設業連合会
社団法人 住宅生産団体連合
一般財団法人 日本建築センター
財団法人 建築技術教育普及センター

■学術・教育機関会員

慶應義塾大学

■企業会員

【出版】

株式会社 新建築社

【設計】

株式会社 日本設計
株式会社 日建設計
株式会社 山下設計

【不動産】

興和不動産株式会社

【住宅】

積水ハウス株式会社